

821号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5 階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



全国 検数労連

新年あけましておめでとうございます。
 組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
 日々われわれ検数労連の活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 現在の港湾業界は、依然として不安定な世界情勢と、国内の記録



的な物価高に直面しています。その中で、われわれ検数現場の環境は非常に厳しい状況にあります。長年の課題である人員不足は深刻さを増し、離職者の増加に対し、若年層の確保が追いついていません。結果として、現場では残された組合員が過重な業務負担を強いられ、正確さを求められる作業の中で、心身の疲労が蓄積している状況です。また、省人化を名目と

とした技術導入が、安全と労働条件の低下を招くことへの懸念も高まっています。

この状況を打開するため、検数労連は、港湾物流を支える検数労働の価値を再確認し「大幅賃上げ・労働条件のさらなる向上」を最重点として取り組みを強化しなくてはなりません。

物価高騰を上回る生活の豊かさを取り戻す大幅賃上げを要求し、組合員の生活向上を一番に考え、さらに、人員不足解消のための適正人員配置と、過酷な現場での安全衛生の強化を追求し、検数労働者が誇りを持って働き続けられる魅力ある環境を作り、未来へつなぐことが重要と考えます。

検数業務は、誰にでもできる仕事ではありません。その専門性と責任を正當に評価させることが、この業界に新しい仲間を呼び込む唯一の

道です。

われわれは、検数業務を未来へと繋ぎ、安心して働き続けられる港湾を次世代に引き渡す責務があります。

時代は常に変化し、私たち検数労働者に求められる役割も複雑化しています。

組合員の皆様の声こそが、原動力です。現場の課題、要望を積極的に組合に届け、中央・支部が共に知恵を出し合い、「現場が変われば、未来が変わる」という信念のもと、力強く前進していきましょう。

本年も、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

全国検数労働組合連合

中央執行委員長 石橋 寛

みんなで26春闘に参加して大幅賃上げを目指そう

26春闘、賃金の底上げであらゆる賃金格差の縮小を

【組合の意義が問われる26春闘】

24・25春闘と賃上げの流れはつくり出したものの、実質賃金をプラスに転換することができず、労働者は賃上げ実感を得ることができていない。昨今の歴史的物価高騰のなかで厳しい生活が強いられているなか、26春闘では賃上げの水準が問われる。人間らしく暮らせる生計費や専門職などに相応しい賃金水準に賃上げさせる決意が必要である。賃上げ実感なき到達では、労使の力関係で決まる賃金原則の形骸化を生み、労働組合への求心力を失わせると言っても過言ではない。

26春闘では労働組合の存在意義と春闘闘争自体が問われることを自覚したただにかいが必要となる。

【『対話と学び合い』で労働組合の見える化を】

組合員との『対話と学び合い』や、未組織で働いている従業員との『対話と学び合い』を丁寧に行い、組織拡大・強化に繋げていく26春闘にしよう。



『対話と学び合い』のポイントは、その対話のなかで見えてきた身近で切実な要求を請け負うのではなく、『ともに解決する実践をつくる』『仲間とチカラを合わせる』ことで変えられた経験をつくる『ここにある』。

26春闘では、自らの生活と職場の実態を『対話と学び合い』のなかで共有し、共通課題を見出し、集団化することで労働組合が見えるたたかいを展開していこう。

【規制緩和をやめて7時間労働実現を迫ろう】

政府・厚労省の労働政策審議会では、財界の意向に従い労働法制、特に労働時間規制をなし崩しにし、労働者への長時間労働の押し付けを企

んでいる。

労働政策審議会では使用者側委員が裁量労働制の対象義務の拡大を検討している。加えて、労基法の最低基準を下回る働かせ方であっても、労使の合意で可能にさせる仕組みについても議論されている。

労働組合として『給料上げて人員を増やして』『子どもとの時間がほしい』『早く帰りたい』といった職場からの切実な声を大事にし、1日7時間働けば人間らしく暮らせる社会の実現を目指し、全国港湾をはじめ全労連などと連帯して労基法規制強化、長時間労働の根絶を目指して。



【軍拡阻止、平和憲法の改悪を止め、差別と分断に対峙する】

現在、政府はロシアのウクライナ侵略、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への人道なき攻撃を口実に『敵基地攻撃能力』の保有など、武力の放棄を掲げた憲法9条を形骸化する一方で、9条に自衛隊を明記する『明文改憲』をすすめている。

同時に、排外主義、女性蔑視、障がい者や性的マイノリティなどの『差別と分断』に対し、誰もが互いを認め合い、信頼し協力し合える社会こそが求められていることを示していく事が重要となっている。まさにたたかう労働組合への運動そのものが『差別と分断』を持ち込む勢力への対抗軸となる。『対話と学び合い』で仲間を増やし、職場や地域に民主主義を構築していく運動として、26春闘の重点課題に位置付けてたたかおう。



2026年 検数労連新春お年玉クイズ♪

問題：この生き物は何でしょう？

正解者の中から抽選で記念品をプレゼント♪

応募期間：2025年1月5日～1月9日まで

住所・指名・単組名を明記のうえ、検数労連中央本部までFAXしてください。

(FAX 番号 03-3733-5622)

	園
裏	
家	